



## バトンをつなぐ!

【校長 太田 謙二】

新しい年、2022年を迎えてから、はや1か月が経ちました。今日から2月です。2月は如月（きさらぎ）とも言います。まだ寒さが厳しく、衣を重ね着する（さらに着る）という意味から、衣更着（きさらぎ）となったと言われていています。まだまだこれから厳しい寒さが続くのでしようね。

この2月は、学校において大事な引継ぎの時期だと思っています。2月25日には、児童会の役員選挙が行われ、5年生から役員さんが選ばれます。そして、縦割り活動や委員会活動など、6年生から5年生に最上級生としてのバトンをつないでいきます。中之島小学校のいい伝統を確実に受け継いでいって欲しいです。



さて、新型コロナウイルス感染症についてですが、オミクロン株の影響で、感染が、今まで経験したことのないような猛スピードで広がっています。全国での感染が、連日過去最多を更新し、多くの都道府県でまん延防止重点措置が適用され、和歌山県も、国に要請している状況であり、大変危惧しています。

このため、残念ながら、子供たちの1年間の成長を見ていただく機会である、3学期の参観・懇談会を中止とさせていただきます。大変申し訳なく思っています。今後の行事等も変更、もしくは中止せざるを得ない場合も予想されます。状況を注視しつつ、日々の健康チェックや正しいマスクの着用、換気、石鹸での丁寧な手洗いなど、感染症対策をより徹底して、教育活動を行っていきたいと考えます。お家の方でも、引き続き健康観察をしていただいで、もし、発熱等の風邪症状が見られる場合には登校を控え、医療機関等を受診していただきますようよろしくお願いいたします。



今年度も残りあと2カ月弱。いい締めくくりができるよう、そして、次の年度にいい形につながられるよう、教職員一同しっかりと指導してまいります。保護者の皆さま、地域の皆さま、どうぞ、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。